

資料4 3次メッシュによる地形・地質の素因情報の整備内容

本資料で整備した地形・地質素因の被覆面積率による素因情報のデータ構成等について以下に示す。

なお、整備したデータについては付録の CD に収録した。

表 A4.1 地形・地質に関する素因情報のデータ構成

要素	構成
ファイル形式	シェープ形式 (ESRI 社 ArcGIS 形式)
データ形式	標準地域メッシュ 3次メッシュ 各メッシュに属性情報として、地形・地質情報を格納 (属性情報の詳細は表 A4.2 に示す)
メッシュサイズ	標準地域メッシュ 3次メッシュに準ずる (緯度方向: 0.4 秒×経度方向 0.4 秒, 約 1km メッシュ)
座標系	緯度経度 (JGD2000)
データ整備範囲	日本全国 (北方領土除く)
データ数	383,878 メッシュ

表 A4.2 地形・地質に関する素因情報の3次メッシュ属性データ一覧表

フィールド名	データ型	単位	内容	備考
ID	Long integer	-	メッシュの連番	
meshcode_1	Long integer	-	1次メッシュコード	
meshcode_3	Long integer	-	3次メッシュコード	
mcode_5k	Long integer	-	5kmメッシュコード	
mesh_Area	double	km2	3次メッシュの面積	※1
DF_Num	Long integer	件	メッシュ内で発生した土石流件数	
SF_Num	Long integer	件	メッシュ内で発生したがけ崩れ件数	
LS_Num	Long integer	件	メッシュ内で発生した地すべり件数	
saigai_All	Long integer	件	メッシュ内で発生した土砂災害総数	
DSL1885Num	Long integer	件	主要大規模崩壊発生件数(1885~)	
Y_ALL_Area	double	km2	土砂災害警戒区域全体の該当面積	※1, 各事象の重複面積なし
WY_ALL_CR	double	少数表記	土砂災害警戒区域全体の該当面積率	※2, 各事象の重複面積なし
R_ALL_Area	double	km2	土砂災害特別警戒区域全体の該当面積	※1, 各事象の重複面積なし
WR_ALL_CR	double	少数表記	土砂災害特別警戒区域の該当面積率	※2, 各事象の重複面積なし
A_area	double	km2	深層崩壊推定頻度マップ「特に高い」の面積	※1
B_area	double	km2	深層崩壊推定頻度マップ「高い」の面積	※1
C_area	double	km2	深層崩壊推定頻度マップ「低い」の面積	※1
D_area	double	km2	深層崩壊推定頻度マップ「特に低い」の面積	※1
AB_Area	double	km2	深層崩壊推定頻度マップ「特に高い+高い」の合計面積	※1
DA_CR	double	少数表記	深層崩壊推定頻度マップ「特に高い」の面積率	
DAB_CR	double	少数表記	深層崩壊推定頻度マップ「特に高い+高い」の面積率	
S_Area	double	km2	地すべり地形分布図の該当面積	※1
S_CR	double	少数表記	地すべり地形分布図の該当面積率	
S2_Area	double	km2	地すべり地形分布図(移動体)の該当面積(S)	※1
S2_CR	double	少数表記	地すべり地形分布図(移動体)の面積率	100mメッシュ処理なし。 土志田(2015)の手法
Rank1	Long integer	-	発生確率区分1条件該当	0:非該当 1:該当
Rank2	Long integer	-	発生確率区分2条件該当	0:非該当 2:該当
Rank3	Long integer	-	発生確率区分3条件該当	0:非該当 3:該当
Rank	Long integer	-	発生確率区分(区分1~3の最大値)	0:非該当 1~3:確率区分値
R2T19	Long integer	件	令和2年台風19号災害の災害箇所数	

※1:面積はUTM53N(2011)投影の場合の面積

※2:面積率は面積を少数4桁丸めしたのち算出